

作成 2021年2月26日
改訂 -
版数 1K

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : モレスコツールメイト TA-400Y
製品コード : 12142
会社名 : 株式会社MORESCO
住所 : 神戸市中央区港島南町5丁目5-3
TEL:078-303-9010 FAX:078-303-9020
カスタマーセンター : TEL:06-6262-3385 FAX:06-6262-3327
Eメール:customercenter@moresco.co.jp
緊急連絡先 : 金属加工油事業部(大阪)
TEL:06-6262-3310 FAX:06-6262-3327
金属加工油事業部(東京)
TEL:03-5537-7055 FAX:03-5537-7059
潤滑油製造部 品質管理課
TEL:0791-42-2100 FAX:0791-43-3179
推奨用途及び使用上の制限 : アルカリ洗剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	GHS分類基準に該当しない	
健康に対する有害性	GHS分類基準に該当しない	
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分2
	水生環境有害性(長期間)	区分2

ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語 : なし
危険有害性情報 : 長期継続的影響により水生生物に毒性
注意書き : 【安全対策】
環境への放出を避けること。
【応急措置】
漏出物を回収すること。
【保管】
なし
【廃棄】
内容物／容器を規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	: 混合物		
化学名又は一般名	: ジエタノールアミン、界面活性剤、水		
化学式	: 特定できない		
成分及び含有量	<u>成分</u>	<u>配合率</u>	<u>CAS No.</u>
	ジエタノールアミン	0.5%未満	111-42-2
	界面活性剤	非公開	非公開
	水	非公開	7732-18-5

※機密事項のため、成分含有量は非公開。

危険有害成分

化学物質排出管理促進法(PRTR法)	: 非該当		
労働安全衛生法 (第57条の2 通知対象物)	: 政令番号219	ジエタノールアミン	0.5%未満

4. 応急措置

吸入した場合	: 新鮮な空気を吸入させ、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 流水でよく流す。
眼に入った場合	: 直ちに流水で15分以上洗眼した後、眼科医の診断を受ける。 着用している場合は外す。その後も洗浄を続ける。刺激が続く場
飲み込んだ場合	: 水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませる。 直ちに医師の診察を受ける。無理に吐かせてはならない。 被災者に意識が無い場合は、口から何も与えてはならない。
急性症状及び遅発性症状の 最も重要な徴候症状	: 飲むと下痢、嘔吐する可能性がある。 眼に入ると炎症を起こす可能性がある。 皮膚に触れると炎症を起こす可能性がある。 ミストを吸入すると気分が悪くなる可能性がある。

5. 火災時の措置

消火剤	: 一般火災の場合は水を用いる。
使ってはならない消火剤	: 情報なし。
特有の危険有害性	: 火災によって刺激性、腐食性または毒性のガスを発生するおそれがある。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合は、容器を破損しないように注水し、冷却する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
特有の消火方法	: 火災、爆発の恐れは無い。周辺災の場合は速やかに容器を安全な場所に移す。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
消火を行う者の保護	: ゴーグル、防塵マスクを使用する。 状況に応じて適切な保護具を装着する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 皮膚に触れたり、眼に入る可能性がある場合は、保護具を着用する。ミストが発生する場合、呼吸器具等を使用してミストを吸入しないこと。
- 環境に対する注意事項 : 土壌の汚染、水質汚濁に繋がるので、可能な限り回収する。河川・下水道などに排出されないよう注意する。環境中に放出してはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 周囲の着火源を取り除く。
少量の場合: 土砂、ウエス等で吸着させて空容器に回収し、更にウエス等で完全に拭き取る。
大量の場合: 盛土で囲って拡散防止をはかってから、掃き集め空容器に回収後安全な場所にて処理する。処理後は大量の水で洗いながす。この場合、濃厚排水が河川等の公共水路に流入しない様に注意する。
- 二次災害の防止策 : すべての発火源を速やかに取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
関係箇所に通報し応援を求める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : ゴム手袋、保護マスク、保護メガネ等、適切な保護具を着用する。取り扱い後の手、顔などは十分に洗浄する。容器から取り出すときはポンプなどを使用すること。細管を用いて口で吸い上げてはならない。
- 局所排気装置・全体換気 : 8. ばく露防止及び保護措置を参照。
- 接触回避 : 10. 安定性及び反応性を参照。
- 安全取り扱い注意事項 : 使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
本品にはエタノールアミンが含まれているので、亜硝酸塩を含む防錆剤等と混同使用しないこと。
取扱後はよく手を洗うこと。
屋外または換気の良い区域でのみ使用すること。
この製品を使用するときに飲食または喫煙をしないこと。
空容器に圧力をかけないこと。圧力をかけると破裂することがある。
飲まないこと。
子供の手の届かない所に置く。
- 衛生対策 : 取扱後はよく手を洗うこと。
保護具は保護具点検表により定期的に点検する。
作業中は飲食、喫煙はしない。

保管

安全な保管条件

技術的対策

- : 熱、スパーク、火炎並びに静電気蓄積を避ける。
容器は必ず密栓すること。

混触禁止物質	: 10. 安定性及び反応性を参照。
保管条件	: 換気の良い場所に保管する。 施錠して保管することが望ましい。 直射日光を避け保管する。 酸化剤から離して保管する。
安全な容器包装材料	: 別の容器に差し替えるときは、製品容器に準じた容器を使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 規定なし。 (作業環境評価基準:平成21年厚生労働省告示第194/195号)
許容濃度(ばく露限界、生物学的ばく露指標)	
日本産衛学会(2010年度版)	: 記載なし。 ¹⁾
ACGIH(2010年度版)	: 1mg/m ³ (ジエタノールアミン) ²⁾
設備対策	: ミストおよび蒸気が発生する場合は発生源の密閉化、または排気装置を設ける。取扱場所近辺に、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。 高温工程でミストが発生するときは、空気汚染物質を許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。
保護具	
呼吸用保護具	: 適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	: 必要に応じて耐油性保護手袋を着用する。
目の保護具	: 飛沫が飛ぶ場合には普通型眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 必要に応じて適切な保護衣、保護面を使用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	
形状	: 液体
色	: 黄蛍光色～緑蛍光色透明
臭い	: 僅かに特異臭
pH	: 8.0-10.0 (1%水溶液)
融点	: 約0℃
沸点	: 約100℃
引火点	: 測定できない
爆発範囲(爆発限界)	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
蒸気密度(空気=1)	: 情報なし
比重(密度)	: 約 1.0
溶解度	: 水に可溶
n-オクタノール／水分配係数	: 情報なし

(モレスコツールメイト T A - 4 0 0 Y)

株式会社MORESCO

4/7ページ

2021年2月26日

(12142-1K)

自然発火温度 : 情報なし
揮発性 : 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性 : 通常の保管状態では安定
危険有害反応可能性 : それ自体では反応しない
避けるべき条件 : 情報なし
混触危険物質 : 無機酸類、有機酸類
危険有害な分解生成物 : 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口 : 急性毒性(経口)に区分する情報はない。

経皮 : 急性毒性(経皮)に区分する情報はない。

吸入 : 急性毒性(吸入)に区分する情報はない。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 皮膚腐食性及び皮膚刺激性に区分する情報はない。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性に区分する情報はない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 呼吸器感作性又は皮膚感作性に区分する情報はない。

生殖細胞変異原性 : 生殖細胞変異原性に区分する情報はない。

発がん性 : 発がん性に区分する情報はない。

生殖毒性 : 生殖毒性に区分する情報はない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 特定標的臓器毒性(単回ばく露)に区分する情報はない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 特定標的臓器毒性(反復ばく露)に区分する情報はない。

吸引性呼吸器有害性 : 吸引性呼吸器有害性に区分する情報はない。

12. 環境影響情報

生態毒性 : 配合成分の区分を基に、混合物として水生環境有害性(急性・長期間)を区分2とした。

残留性・分解性 : (分解生成物) N 0.15% P 0%

化学的要求酸素量(COD) : 約 100ppm(1%水溶液)

生物学的要求酸素量(BOD): 情報なし

土壤中の移動性 : 情報なし

オゾン層への有害性 : 情報なし

他の有害影響 : 情報なし

環境基準 : 情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を

受けた処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

投棄禁止。

埋立処分を行う場合には、あらかじめ焼却設備を用いて焼却し、その燃殻については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」に定められた基準以下であることを確認しなければならない。燃焼する場合は、安全な場所で、かつ、燃焼または爆発によって他に危害または損害を及ぼす恐れのない方法で行うとともに、見張り人をつけること。

汚染容器及び包装

: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報

: IMDGの規定に従う。
UN No. : 3082
Proper Shipping Name : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.
Class : 9
Sub Risk : -
Packing Group : III
Marine Pollutant : applicable

航空規制情報

: ICAO/IATAの規定に従う。
UN No. : 3082
Proper Shipping Name : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.
Class : 9
Sub Risk : -
Packing Group : III

国内規制

陸上 : 消防法 非危険物
海上 : 船舶安全法 危険物（環境有害物質(液体)）
航空 : 航空法 危険物（環境有害物質(液体)）

応急措置指針番号 : 171

特別の安全対策 : 吸湿防止のため、雨滴等水分に触れないよう注意する。
強酸、強アルカリ及び可燃物と隔離して輸送する
容器が破損しないよう乱暴な取り扱いを避ける。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 通知対象物
化学物質排出管理促進法(PRTR法) : 該当しない
(モレスコツールメイト T A - 4 0 0 Y)

毒物及び劇物取締法	: 該当しない
消防法	: 該当しない
水質汚濁防止法	: 有害物質: 該当しない : 指定物質: 該当しない
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: 産業廃棄物規制(拡散、排出の禁止)

16. その他の情報

引用文献等	: 1) 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告(OELs) 2) Thresholds limit values for chemical substances and physical agents and biological exposure indices. ACGIH 3) (独)製品評価技術基盤機構(NITE) 4) 原材料SDS
-------	--

- (1) 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。
- (2) この安全データシートは、当社の製品を適正にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の取り扱いを対象としたものです。
- (3) 本製品は、この安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- (4) ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。